慣用句(中級)プリント22

月　　日　　名前 _____

問1　人の（　）を取ってばかりいないで協力しよう。（　）に入る言葉はどれですか？

1. 手足　2. 地足　3. 素足　4. 揚げ足

問2　困っている友人の話に（　）を貸す。（　）に入る言葉はどれですか？

1. 鼻　2. 口　3. 耳　4. 目

問3　「腰が重い」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

1. 彼はいつもやるべきことに対して腰が重い。　2. 重いものを持ったせいで腰が重い。　3. 腰が重いので、椅子に深く座り直した。　4. 荷物が重すぎて腰が重い状態だ。

問4　「口を酸っぱくする」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

1. 梅干しを見て口を酸っぱくして笑った。　2. 先生は宿題を出すよう、口を酸っぱくして言った。　3. 彼は口を酸っぱくして飲み物を飲んだ。　4. レモンを食べて口を酸っぱくした。

問5　「間髪を容れず」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

1. 間髪を容れずに、ゆっくり休みをとった。　2. しばらく考えこんでから、間髪を容れず答えた。　3. 先生の質問に、彼女は間髪を容れず手を挙げた。　4. 間髪を容れず、美容院で髪を短く切ってもらった。

問6　彼は合格するために裏で（　）を回していた。（　）に入る言葉はどれですか？

1. 足　2. 手　3. 首　4. 腰

問7　周りの人に（　）を配る優しい人だ。（　）に入る言葉はどれですか？

1. 気　2. 耳　3. 手　4. 足

問8　「目が泳ぐ」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

1. プールで泳いでいるとき、彼は目を泳がせた。　2. 水中で目を泳がせて、遠くの景色を見た。　3. 海で目を泳がせて、魚を探す練習をした。　4. 問い詰められて、彼は不安そうに目を泳がせた。

問9　「歯が立たない（相手が強くてかなわない）」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

1. 転んで口をぶつけたので、歯が立たなくなった。　2. 強豪校との試合では、全く歯が立たなかった。　3. 歯みがきをサボっていたら、歯が立たなくなった。　4. 虫歯が痛くて、歯が立たない。

問10　相手の（　）を探るような質問は失礼だ。（　）に入る言葉はどれですか？

1. 背　2. 腕　3. 足　4. 腹

問11　「歯に衣着せぬ」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

1. 彼女は歯に衣着せぬ物言いで、周囲を驚かせた。　2. 歯に衣着せぬ服を着て、パーティーに出た。　3. 寒かったので、歯に衣着せぬように厚着をした。　4. 歯に衣着せぬように、しっかり歯を磨いた。

問12　「根に持つ」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

1. 根に持つほど深く穴を掘って埋める。　2. 植物の根に持つと栄養がよく吸収される。　3. ささいな失敗をいつまでも根に持つ。　4. 重い荷物を根に持つように運ぶ。

問13　「手に負えない」の意味はどれですか？

1. 相手との勝負に負けて悔しい思いをする　2. 相手の要求をすべて受け入れてしまう　3. 相手をうまくコントロールして動かす　4. 相手の勢いや性質が強すぎて、どうにも処理できない

問14　「胸に秘める」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

1. 冷たい風が吹いたので、胸に秘めて温まった。　2. 胸に秘めていた重い荷物を地面に置いた。　3. 将来の夢を胸に秘めて、毎日努力を続けている。　4. 秘密を胸に秘めて、大きな声でみんなに話した。

問15　「閑古鳥が鳴く」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

1. 駅前の商店街は、最近客足が遠のき閑古鳥が鳴いている。　2. 森の中で閑古鳥が鳴く声を聞きながら散歩をした。　3. 閑古鳥が鳴くほど、この店は毎日大行列ができている。　4. 朝早くから閑古鳥が鳴いて、近所迷惑になっている。

問16　「足を洗う」の意味はどれですか？

1. 泥遊びをして足をきれいにする　2. 悪い仲間や仕事から縁を切る　3. 過去の失敗を反省して謝る　4. 長い旅から帰ってきて休む

いちごドリル プリント

つづきの無料プリント
「慣用句」のプリント一覧がひらきます

慣用句(中級)プリント22　答え合わせ・解説

問1　答え 4　揚げ足
「揚げ足を取る」の「揚げ足」の部分が入ります。 意味は「相手の言い間違いや失言を捉えてからかう」です。

問2　答え 3　耳
「耳を貸す」の「耳」の部分が入ります。 意味は「相手の意見や相談を親身になって聞く」です。

問3　答え 1　彼はいつもやるべきことに対して腰が重い。
「腰が重い」の正しい使い方は「彼はいつもやるべきことに対して腰が重い。」です。 意味は「物事に対して意欲的でなく、なかなか行動に取りかかろうとしない」です。

問4　答え 2　先生は宿題を出すよう、口を酸っぱくして言った。
「口を酸っぱくする（口を酸っぱくして〜する）」は、「同じことを何度も繰り返し注意する・言う」という意味の慣用句です。そのため「宿題を出すよう、口を酸っぱくして言った」という使い方が正しいです。

問5　答え 3　先生の質問に、彼女は間髪を容れず手を挙げた。
「間髪を容れず」の正しい使い方は「先生の質問に、彼女は間髪を容れず手を挙げた。」です。 意味は「少しの時間もおかずに、すぐに行うさま」です。

問6　答え 2　手
「手を回す」の「手」の部分が入ります。 意味は「目的を達成するために、あらかじめ準備や工作をする」です。

問7　答え 1　気
「気を配る」の「気」の部分が入ります。 意味は「あれこれと細かい点まで注意を払う」です。

問8　答え 4　問い詰められて、彼は不安そうに目を泳がせた。
「目が泳ぐ」の正しい使い方は「問い詰められて、彼は不安そうに目を泳がせた。」です。 意味は「不安や動揺で、視線が落ち着かない様子」です。

問9　答え 2　強豪校との試合では、全く歯が立たなかった。
「歯が立たない」は「相手の力が強すぎて、かなわない（太刀打ちできない）」という意味の慣用句です。実際に「歯がぐらつかずに立っている」という意味ではありません。

問10　答え 4　腹
「腹を探る」の「腹」の部分が入ります。 意味は「相手の考えや本心を知ろうとする」です。

問11　答え 1　彼女は歯に衣着せぬ物言いで、周囲を驚かせた。
「歯に衣着せぬ」の正しい使い方は「彼女は歯に衣着せぬ物言いで、周囲を驚かせた。」です。 意味は「相手に遠慮せず、思ったことをずけずけと言う」です。

問12　答え 3　ささいな失敗をいつまでも根に持つ。
「根に持つ」の正しい使い方は「ささいな失敗をいつまでも根に持つ。」です。 意味は「いつまでも恨みや不満を忘れないでいる」です。

問13　答え 4　相手の勢いや性質が強すぎて、どうにも処理できない
「手に負えない」は「相手の勢いや性質が強すぎて、どうにも処理できない」という意味です。

問14　答え 3　将来の夢を胸に秘めて、毎日努力を続けている。
「胸に秘める」の正しい使い方は「将来の夢を胸に秘めて、毎日努力を続けている。」です。 意味は「心の中にしまっておいて、人には言わない」です。

問15　答え 1　駅前の商店街は、最近客足が遠のき閑古鳥が鳴いている。
「閑古鳥が鳴く」の正しい使い方は「駅前の商店街は、最近客足が遠のき閑古鳥が鳴いている。」です。 意味は「客が来ず、商売がひっそりとしていて寂しい様子だ」です。

問16　答え 2　悪い仲間や仕事から縁を切る
「足を洗う」は「悪い仲間や仕事から縁を切る」という意味です。